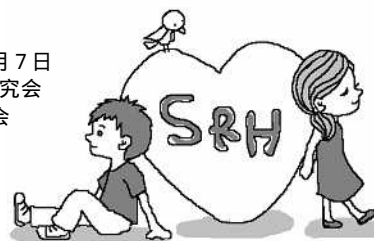


岡山SRH研究会 会報誌 第7号

平成19年7月7日
岡山SRH研究会
運営委員会



涼しげな風鈴の音が聞こえる季節となりました。じめじめと蒸し暑い日々ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。夏休みを前にウキウキと心弾ませている子どもたちもいれば、暑さと倦怠感にうなだれている様子の若者達も、目にします。まずは私たちが、彼らに爽やかな風を運び、元気を与えられるような存在になれるといいですね。そのためにも、いざというときパワーを共有し合えるような仲間とのつながりを、私たち大人も大切にすべきなのだと改めて感じています。岡山SRH研究会も、ともに学び情報を共有する場です。皆様にとってこのつながりが、あったかく心地良い空間となることを願っています。

(運営委員会 会報誌係)

第13回 研修会報告

平成19年5月20日、生涯学習センターにて、第13回研修会が開かれました。今年度のテーマでもある「ピア」を取り上げ、大変盛りだくさんな内容で実施されました。研修会の内容を少し紹介させていただきます。

テーマ：岡山のピアたちを盛り上げよう！！

..... 第1部 ピア活動紹介と実演

「STIカフェ」 A2

A2の主な活動であるカフェの様子を、スライドと説明用の教材現物も交えて紹介して頂きました。カフェは、10問程度の性感染症やエイズのクイズをきっかけに同世代の若者と話します。今までに大学祭や高校の文化祭、クレドビルでの独自イベントなど積み重ねてきておられます。説明するほうも聞くほうも1人から3人で、少人数だから話しやすい、クイズから発展して日常の話までおおよそその良さが想像できました。説明用教材もしっかりしており、定期的勉強会も開いておられるとのことでした。最後に会員募集中とのPRもありました。<http://www.std-shc.net/a2/index.html>

「人形劇」倉敷芸術科学大学

先輩との初体験！での、彼と彼女の心の動きを、天使と悪魔の心の声で語ってくれます。『そうすべきなのは分かるんだけど、でも・・・』っていう感じの揺れは、同じ世代の人にはとても共感できる内容に思いました。最後にはきちんと知識のおさえをしてくれるので、気をつけよう、という思いを残すことができたのではないのでしょうか。これからもぜひ活躍して欲しいです。



..... 第2部 “性教育”への楽しいアプローチ

「こんな工夫で伝えたい」上村茂仁

前回デートDVのロールプレイをしたので、今回はロールプレイができない場合に使えるツールを示しました。基本は大分県が出しているデートDVのパンフレットで、漫画でその状況が示されています。子供たちに受け入れやすいタッチの漫画なので集中してくれそうです。大分県、デートDVのキーワードで検索できます。また性感染症を扱う場合の一例として私のクリニックのHPに掲載しているSTIカフェの話をお子たちに読ませて感想を書いてもらいながら性教育の知識を深めてもらう試みを奈義中学校が行っていたので紹介しました。このSTIカフェは漫画にもなっているのですが、養護教諭の先生方と若者たちに編集委員になってもらいみんなで作成した原作です。このように有効に利用されることは非常にうれしいことです。

「参加型の朗読」富岡美佳

makotoとsayakaのさわやかな恋の物語。ある日、sayakaは友達makiに誘われ産婦人科へ・・・そこで、医師はある事をsayakaに伝えた。そのことからmakotoとsayakaは、二人にとって大切なことを見つけていく・・・

恋・失恋・戸惑い・不安、人を好きになれば誰にでもある気持ちを、素敵な音楽と参加型のシナリオ劇で、みなさんの心にお届けしました。ピアの力でこころを動かす性教育を目指して・・・



裏面では、当日の参加者からの感想を紹介しています

つづき 裏面（研修会報告）

～ 第13回研修会 参加者の感想 ～ アンケートへのご協力ありがとうございました。一部を紹介させていただきます。

性教育について、講演から形をかえてやろうと思っていたので、とてもタイムリーな機会が得られ良かった。人形劇、朗読劇など参考になった。思春期のための参加型スタイルをどうやるか考えていたので有り難かった。特にかたくほしい会でもなく誰でも気軽に参加できる居心地のいい感じを受けた。継続していくことが大切だと思う。また色々な場で、若い人々に働きかけていく地道な活動が必要だと感じた。愛について最初に講義があるので、変な抵抗がなく素直に知識を身につけることが出来てよかった。デートDVは身近に起こることなので幼少の頃からどのようなことが駄目で何がDVになるのかということをはっきりさせることが大切だと感じた。もっと岡山でどのような事例があるのか知りたい。朗読は、現状や男女の付き合い方がわかりやすくて良かった。ピアノの生演奏まで凝っていて雰囲気が出ていた。力を持っている学生さん達の力を引き出せる企画をもっとしていきたいと思った。「ふたり」の朗読がとても印象に残った。シナリオ、映像、配役ともに、とても良かったと思う。性のことだけでなく愛についてなどもあり、とても「楽しい」と感じる事ができた。

上村茂仁先生のコラム



最近、妊娠した中学生が連続でクリニックにやってきました。

ある島の中学校では、出会い系サイトがはやっていて、島から出たい中学生の女の子は、知り合った、車持ちの男性と、島に唯一あるローソンで待ち合わせて、ドライブをするようです。そしてその島では何組もこのような関係のカップルができていて、養護教諭の先生が悲壮感を持って語っていました。

また、ある中学生の女の子は、もぞもぞと話し始めました。「エート、彼氏はいないけど、エッチしてる人はいる・・・」「実は何人も」「サイトで知り合ってセックスしてる」「暇な時間があるからしてるんだけど・・・今回の人から初めてお金もらった・・・」私自身、メール相談やクリニックの患者からよく聞いている話であるにもかかわらず、毎回本当に虚しくなってしまう。

ただ、これらに共通したことはサイトを使って連絡していること。そして女の子が暇な時間を退屈しているということです。彼女らはいったい何を求めているのでしょうか。休みに友達と遊ぶ、クラブ活動をする、たまに勉強をする、家族と居る、そんなことが休みにすることだとしたら、友人とはメールで話せるから実際に会わなくても大丈夫だし、家族は相手してくれないし、それどころか文句ばかり言われるので一緒にすごしたくないし、クラブ活動にも入っていないが多いし、宿題があっても、まあ勉強は夜できる。・・・となると、昼間はやはり、ネットサーフィン、サイトサーフィンでしょう。特に女子校生は、携帯サイトに精通していますから、あらゆるサイトを知っています。そんな状況で、セックスを求めてくる男性と出会うのはとても簡単なことです。そして女の子たちは、それを好しているのです。・・・悲しくなってしまうのか？

しかし、腹が立つのは、その男どもです。相手はどう見ても中学生ですよ。にきびが顔に残っている、本当に子供です。そんな子とセックスをしようと考えること自体、おかしいでしょう。さらに避妊もしない馬鹿どもがたくさん居るのです。青少年保護条例は、なんて力の無い条例なのでしょうか。せめてこの子たちを妊娠、中絶から守ってあげたい。女の子よ、なぜ妊娠を自分がすることも無い、まして妊娠したら音信普通になって逃げってしまう男たちを信用するんだい？自分の身は自分で守ろうじゃないか。寂しいからセックスしてしまう、百歩譲ってそれが仕方なかったとしても緊急避妊薬があるでしょう？そして定期的な避妊はピルなんだよ。もう男たちに避妊を任せることはやめようね。そんな寂しさを感じながら、今日もピルの説明を馬鹿みたいに必死になって中学生にしている私です。



かふえ101 報告



6月7日、第1回「かふえ101」が、岡山駅前の「ゆめカフェ」で開催されました。

ご来場の方には、性感染症やエイズ、避妊等について若者同士で学び語り合える場を提供し、また美しいピアノ演奏とともに繰り広げられる心温まる愛のストーリー「ふたり」の朗読を



聴いてもらっています。お帰りの際には、たくさんの資料やパンフレット、グッズ等も持ち帰っていただきました。

もちろん課題や反省も多く残りました。多くの方に気軽に足を運んでもらえるよう、今後も検討を重ね、より有意義な活動と空間づくりをしていきたいと考えています。

・・・そんな「かふえ101」、第2回の開催も決定しました！別紙案内を同封しておりますのでご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

連絡

次回研修会は、9月2日（日）に実施されます。別紙案内をご確認ください。今回はコラムボタンリレーをお休みさせていただきました。次回をお楽しみに。

第7回会報誌作成にあたり、ご協力をいただいた皆様、ありがとうございました

岡山SRH研究会

お問い合わせ先はコチラ

FAX : 086-803-5336

E-mail : srh_ok2000@yahoo.co.jp